

金沢大学法学系 能登半島地震と法研究会 主催

金沢大学法学研究科・法学類共催



能登半島地震で起きたこと

—災害時の法的支援のこれからを考える

令和6年能登半島地震により、私たちは、あまりに大きな被害を受けるとともに、多くの法的課題にも直面することになりました。

本シンポジウムでは、こうした課題を、現場と研究者双方の視点から採り上げます。そして、被災地での問題解決の方向性を検討するとともに、日本各地で次に起こり得る災害への備えとしてできることを考えます。

プログラム

第一部 現場から (13:00~)

被災者相談で見えてきた現状と課題 (仮)

金沢弁護士会災害復興支援 WG

長瀬 貴志 (金沢大学教授・弁護士) 早川 潤 (弁護士) 山腰 茂広 (弁護士) 宮崎 昇一郎 (弁護士)

被災地で応急・復旧・復興に従事する公務員と課題

糸崎 弥央 (自治労石川県本部) 笛田 保之 (国土交通労働組合)

第二部 研究者から (14:45~)

建物損壊をめぐる法的課題

石尾 智久 (金沢大学准教授・民法)

自然災害における介護サービス保障

石田 道彦 (金沢大学教授・社会保障法)

震災における公法的課題

稲葉 実香 (金沢大学教授・憲法)

災害と犯罪

永井 善之 (金沢大学教授・刑法)

被災地で最前線に立つ公務員によせて

早津 裕貴 (金沢大学准教授・労働法)

被災者の生活支援・生活再建

宮本 誠子 (金沢大学教授・民法)

第三部 意見交換 (16:15~)

2025年 3月23日(日) 13:00~16:45

しいのき迎賓館 セミナールームB

(石川県金沢市広坂2丁目1-1)

入場無料・入退室自由

連絡先:能登半島地震と法研究会 noto.law.uk@gmail.com